

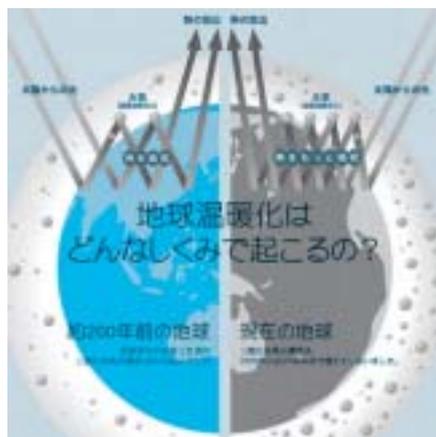
春夏秋冬→夏夏夏夏!?

地球の温度は、太陽から送られてくる熱（日射）と、その熱によって暖められた地表から宇宙へ放出される熱とのバランスにより定まっています。

地球を取り巻く大気中に含まれる二酸化炭素などの温室効果ガスは、地表から宇宙に向かって放出される熱を吸収し、再び地表に放射する性質があり、この働きによって地表の平均気温は約15℃に保たれています。

しかし、経済活動の活発化などに伴い、人類が石炭や石油などの化石燃料を大量に燃やすようになったため、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量が急激に増加しました。

その結果、宇宙への熱の放出を抑える温室効果が強まり、地球の気温が全体的に上昇しています。これが地球温暖化と呼ばれる現象です。



〈全国地球温暖化防止活動推進センター
ウェブサイト (<http://www.jccca.org>)より〉

感染症がやってくる!?

地球温暖化の影響により、2100年までに地球全体の平均気温が1.1～6.4度上昇し、海面が19～58cm上昇するともいわれています。日本でも、海面上昇による海岸の侵食、マラリアなど熱帯の感染症の発生、農業等への悪影響など、私たちの生活への深刻な影響が心配されています。

●このままCO₂が増え続けると、こんな心配が…。21世紀末までに(1990年と比べ)例えば…



〈出典：「地球温暖化パネル」全国地球温暖化防止活動推進センター〉

どれだけ増えるの、CO₂!?

2004年の県内の二酸化炭素排出量は、7,227万トンで、1990年と比べ、9.9%の増加となっています。なかでも、オフィスビルなどの業務部門や家庭部門からの排出量の増加が目立っています。

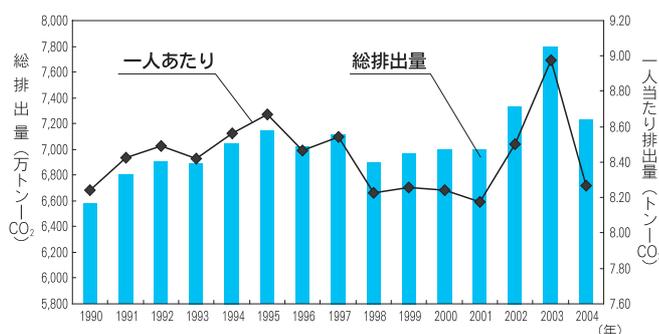
家庭から出る二酸化炭素のうち、最も割合が大きいものが照明と家電製品からのもので約3割、自動車がほぼそれと同じくらい、そのあとが暖房、給湯となっています。地球温暖化を防ぐためには、こういった身近なところから出る二酸化炭素を減らしていくことが大切です。

地球温暖化を防止するために

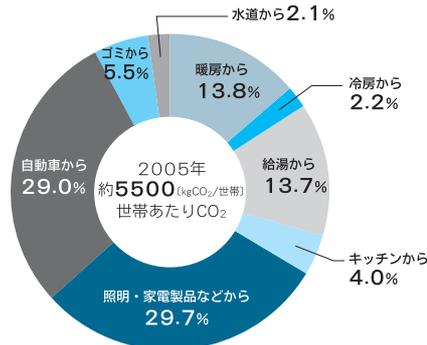
県では地球温暖化に関する普及啓発や二酸化炭素の排出量の少ない低公害車の普及促進などを進めるほか、自主的に環境配慮に取り組む内容を登録する「マイアジェンダ」制度を推進し、登録を呼びかけています。

また、県自らが一事業者として環境マネジメントシステム¹を導入するとともに、太陽光発電など環境に負担をかけずにエネルギーを作り出す設備を県施設へ設置するなど、二酸化炭素排出量の削減に努めています。

●神奈川県内の二酸化炭素排出量の推移



●家庭からの二酸化炭素排出量 -用途別内訳-



¹ 環境マネジメントシステム

環境に配慮した取組を継続的に改善する仕組みのこと。

〈出典：温室効果ガスインベントリオフィス
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org>)より〉